

就学先や進路先について

---

どのような  
就学先や  
進路先があるの？



# 就学先や進路先について

地域の小学校

通常の学級 特別支援学級

特別支援学校（小学部）

地域の中学校

通常の学級 特別支援学級

特別支援学校（中学部）

進学

公立高等学校  
私立高等学校  
高等専修学校（1～5年制）  
高等専門学校（5年もしくは5年6か月）  
特別支援学校（高等部）  
高等特別支援学校

就職

企業等

福祉サービス

施設・事業所

# 就学先 地域の学校と特別支援学校の違い

## 特別支援学校

- ・対象：障害基準に該当する子ども（発達障害児は、「知的発達の遅滞があり、社会生活への適応が著しく困難な子ども」が対象になる。）
- ・特別支援学校の教員免許をもった教員が担当する。
- ・1学級6人（小・中学部）、1学級8人（高等部）を上限とする。（重複障害学級は3人）

## 地域の学校

### ○通常の学級

- ・1学級30人から40人が主となり、学習支援が中心。

### ○特別支援学級

- ・学習の進度は個に合わせたものになる。
- ・1学級8人を上限とする。

# 地域の学校 学級の違いは？

---

## ○通常の学級

学年に応じた目標や内容、標準授業時数

## ○特別支援学級

- ・自立活動を取り入れる
- ・必要に応じて、下の学年の各教科の目標や内容に代替することが可能
- ・必要に応じて、知的障害特別支援学校の各教科で代替することが可能
- ・個別の教育支援計画を作成する

# 就学先 各学校の対象者は？

## 特別支援学校対象者

- ・視覚障害者
- ・聴覚障害者
- ・知的障害者
- ・肢体不自由者
- ・病弱者（身体虚弱）

## 特別支援学級対象者

- ・弱視者
- ・難聴者
- ・知的障害者
- ・肢体不自由者
- ・病弱者・身体虚弱者
- ・言語障害者
- ・情緒障害者
- ・自閉症者

## 通級の対象者

- ・弱視者
- ・難聴者
- ・肢体不自由者
- ・病弱者（身体虚弱者）
- ・言語障害者
- ・情緒障害者
- ・自閉症者
- ・学習障害者
- ・注意欠陥多動性障害者



# 特別支援学校 について



# 愛知県内には多くの特別支援学校があります。

---

- 盲学校 2校
- 聾学校 6校
- 知的障害特別支援学校 23校
- 肢体不自由特別支援学校 11校
- 病弱特別支援学校 1校
- 知的障害・肢体不自由特別支援学校 1校

(愛知県HP「愛知県特別支援学校配置図」参照)

住んでいる地域によって通学可能な特別支援学校は決められています。

# 刈谷市、知立市、高浜市の児童・生徒が 通学可能な特別支援学校（小・中・高）

---

- ・安城特別支援学校（知的障害のある児童生徒を対象）
- ・愛知教育大学附属特別支援学校（知的障害のある児童生徒を対象）
- ・刈谷特別支援学校（肢体不自由のある児童生徒を対象）
- ・大府特別支援学校（病弱・身体虚弱の児童生徒を対象）
- ・岡崎盲学校（盲学校）
- ・岡崎聾学校（聾学校）

重複障害の場合は、あてはまる  
障害種の学校の中から選ぶこ  
とができます。

# 高等特別支援学校、校舎等

---

- ・春日井高等特別支援学校（高等部産業科）
- ・豊田高等特別支援学校（高等部産業科）
- ・大府もちのき特別支援学校桃花校舎（高等部普通科）
- ・豊川特別支援学校本宮校舎（高等部普通科）

※知的障害の程度が比較的軽度の生徒を対象とし、職業自立を目指した教育を推進しています。